



銀座金澤翔子美術館
GINZA SHOKO KANAZAWA MUSEUM

修善寺
SHUZENJI

<http://www.shokokanazawa.net/>

2014年2月3日(月)オープン!

住所 静岡県伊豆市修善寺970 新井旅館
電話 0558-73-2900
時間 10:00~16:00 (最終入場15:30まで)
休館日 木曜日
入場料 一般:600円/小学生:300円
小学生未満:無料

伊豆修善寺 新井旅館に今春、 「銀座金澤翔子美術館」が開館します。

明治5年創業の新井旅館は情緒溢れる建築が棟造りによって結ばれた伝統的日本旅館です。特別室や大浴場は歴史画の大家として知られる安田靉彦によって、巨岩が配されたロビーは浅草寺本堂の天井に龍を描いた川端龍子によって設計され、明治期から大正、昭和を経た建物は国の有形文化財として登録されています。

その新井旅館にある離れ「山陽荘」は、日本画家、横山大観の居室兼アトリエとして昭和3年に建てられたもので、南斜面に建つ素朴でありながらのびやかな建築構造を持った美しい建物です。翌年には大観より「例の新しい座敷ができたがって1年経とうとするも、なかなか行けずに申し訳ない」との手紙も送られており、大観が自身のアトリエを気にしている様子うかがえます。

2014年2月、この山陽荘が若き女流書家、金澤翔子の美術館として生まれ変わります。今こそ大家として名を馳せている大観ですが、彼は伝統と革新の狭間で闘いながら新しい日本画を確立していった作家でもあります。この由緒ある建物を美術館とし、先達の精神性を引き継ぎ、伝統の上に新しい息吹を感じるここのでできる空間をお目にかける所存です。金澤翔子はダウン症というハンディを背負っています。それ故、人間が生まれな

がらにして持っている純粋性を、作品に100%表現できる希有な作家です。現在28歳の金澤翔子は、NHK大河ドラマ「平清盛」の題字提供や、毎年開催されている建仁寺や東大寺等の巡回展等、その活躍は留まる所を知りません。和紙に黒い墨だけという最もシンプルな表現で、見る者誰しもの心を強く打つことができるのは、まさに彼女が書家としての才能をまとうて生まれてきたという証左といえるでしょう。

このたび、銀座に次ぐ新しい美術館として使用する山陽荘は、単なる展示場所ではなく、作品と建築、そして四季を彩る庭との調和をお見せすることが出来る空間です。伝統的な建物、技法、素材が相成って最も新しい表現となり、温故知新を全身で感じられるような驚きの展示空間にどうぞご期待ください。

開館を記念して登録文化財「甘泉楼」の120畳の大宴会場を使用し、2013年の新作展として建長寺、建仁寺等、そして東大寺を巡回した作品群を一挙に展示致します。1月19日(日)には金澤翔子本人も会場に来て、席上揮毫を披露致します。作品と共に、実際に作品制作へ向かう様子をご覧いただける貴重な機会となります。ぜひ足をお運びいただき、その瞬間を体感していただければ幸いです。

新井旅館「銀座金澤翔子美術館 修善寺」開館記念特別展示

金澤翔子展 @甘泉楼

Shoko Kanazawa Exhibition at KANSENRO

「銀座金澤翔子美術館 修善寺」の開館を記念し金澤翔子作品の特別展示を行います。甘泉楼の120畳の空間に、建仁寺、建長寺、東大寺等を巡回した2013年制作の屏風作品を展示致します。

会場 新井旅館「甘泉楼」
期間 2014年1月17日(金)~2014年2月2日(日)
時間 10:00~16:00 (最終入場15:30まで)
休館日 無休
入場料 無料

★金澤翔子 席上揮毫★

金澤翔子本人による席上揮毫を行います！
詳しくは03-3248-3405までお問い合わせください。
場所 新井旅館「甘泉楼」
日時 2014年1月19日(日) 14:00~

※美術館、作品に関してのご質問等、お気軽にお問い合わせ下さい。 info@megumiogita.com <http://www.megumiogita.com/>

